

文〔C〕

入置申一札之事

右者、かね与申女、我等召抱めしかかまかりこれあり罷有レ之候処、此度栄吉殿「御世話
 二而、長十殿養女ニ 致いたし度由申御咄はなし有レ之、右「年季之義者、来
 ル申正月晦日まで、本紙証文通り」相違無ニ御座ニ候ニ付、金四兩
 御遣し被レ下、たしか慥ニ請取、右女子「養女ニ差遣し申候処、相違無ニ
 御座ニ候、然ル上者、我等年季」中、何様申来候共、我等引請、貴
 殿方ニ御苦劳相掛申間敷候、」且又深谷宿元方もとかたと然しかるべき可年季義者御
 相談行届キ有レ之候上者、何様申来候とも我等引請、貴殿方ニ御
 心配「相掛申間敷候、尤もつとも国元親之義者、貴殿方ニ而何」様ニも御
 相談可レ被レ成候、為ニ後日ニ入置申養女一札、如レ件

安政六年未六月吉日

旅籠屋
抱人

太兵衛印

栄吉印

長十殿代

本極院様

(貼紙省略)